

平成の大改修 本堂・山門・鐘楼堂

宗祖御降誕800年慶讃

圓頓寺開基400年慶讃

本堂大改修落慶報告式

平成30(2018)年
6月10日(日)



圓頓寺
たより

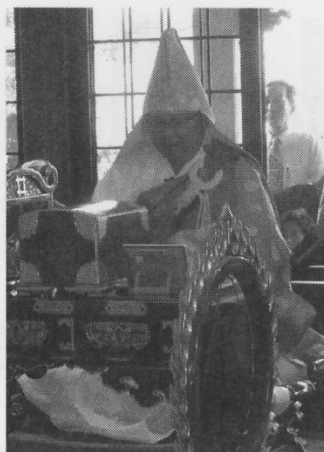
発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424



平成の大改修に感謝 落慶報告式を挙行

第三十四世

順境院日撮



合掌。大暑の候、檀信徒の皆様方におかれましては、益々ご清適のこととお慶び申し上げます。当山においても先の六月十日、宿願でありました本堂大改修の落慶報告式を無事に挙行出来ましたこと、全檀信徒の皆様方に対しご報告と甚深の感謝を申し上げます。

振り返りますと、江戸時代後期、嘉永二年の建立で歴史ある本堂は、近年、急速に老朽化が進行しておりました。屋根瓦の劣化により、強雨の際には多数の雨漏り、台風の折には内部への浸水、よって建物はもちろんのこと、仏具への被害も慢性的に広がっていきま

した。基礎の脆弱も合わさり柱も傾き、抜本的な大改修を行わなければ、将来への堂宇保持は甚だ困難な状況になっていました。耐用年数を優に超えた傷んだ瓦葺きを替えるには、それを支える柱の傾斜の回復が必要であり、柱の傾きを

を是正するには、地盤の強化が必然となります。よって、本堂の大改修にてこの根本的な大工程を経ずしては堂宇の永続は叶いません。幸いに本堂の中心をなす主要な柱や梁は歪みこそあれ、いまだ頑強。それに付随する秀逸な彫刻装飾も、年月の風合いを加味し大そう立派なものでもあります。

そこで、この現存する貴重な建築様式と材木を後世に残すため、平成二十七年

を是正するには、地盤の強化が必然となります。よって、本堂の大改修にてこの根本的な大工程を経ずしては堂宇の永続は叶いません。幸いに本堂の中心をなす主要な柱や梁は歪みこそあれ、いまだ頑強。それに付随する秀逸な彫刻装飾も、年月の風合いを加味し大そう立派なものでもあります。



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092)271-0456 • FAX (092)271-0464

工場

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092)806-7499 • FAX (092)807-1079

翌平成二十八年の護持会
総会では、建設準備委員会



式衆を迎える参列者

の護持会総会にて、建設準備委員会が設立され、実質的な本堂の大改修への事業計画が開始されました。この年の台風では本堂の瓦が多数破損、内部への著しい水害を受け、殊に梁柱の彩色や金箔、御厨子と仏具に多大な損害を被ることになりました。

を改変し建設委員会を設立、具体的な事業計画を進めていくその矢先、熊本地震が発生。当山も、市の二次調査を受け、本堂は半壊の認定。鐘楼堂も半壊認定。檀信徒会館も一部損壊の認定を受けるに至りました。歴史ある山門の仁王像も全損の被害を蒙りました。県内の被害状況の甚大さに鑑み、事業計画の存続も危惧しましたが、山鹿市の世帯の被害は軽微であったため、頓挫することなく、幾多の会議を経て臨時の護持会総会にて満場一致の賛同をもって、本堂と山門と鐘楼堂の大改修工事の決定が正式に決まりました。

平成二十九年正月より趣意書を配布。御寄進の勧募が始まり、四月に起工式法要。傷んだ瓦を撤去。天井小屋組みの解体。内壁と外壁の撤去。柱と梁だけになり軽くなった本堂を、揚屋工事にて基礎の強化と柱の傾斜復元。十一月に上棟式法要。年をまたいでの瓦葺き。大きな過誤も無く工事は進捗し、本年六月十日には、本堂の大改修の落慶報告式及び祝宴を奉行することが出来ました。当日は遠近の御



開眼供養を見守る参列者



郷土に生まれて味ひとすじ

仏・祝会席・鉢盛・寿司

中町店 ☎ 44-0055

仕出部 ☎ 44-5804



寺院御来賓を迎え、多くの檀信徒の御参列をいただき、滞りなく盛況となりました。



法要の後半からは、当山檀信徒でもあります蒲島郁夫熊本県知事が、午前の西原村における公務を終えての御臨席もあり、集合写真にもご参加いただき（一ページ参照）、祝宴ではお祝い

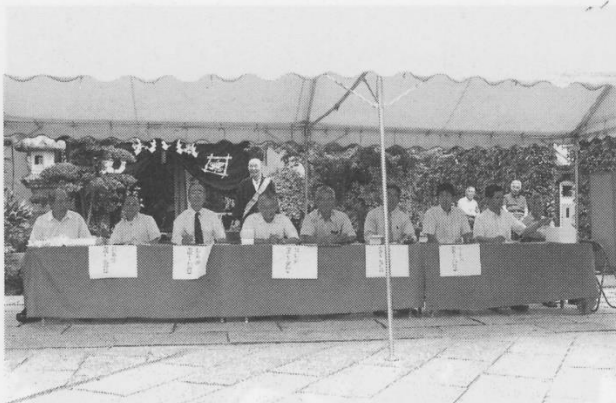
の言葉を賜り、慶事に花を添えていただきました。

大願を全うできましたのも、これ偏に仏天の御加護と、有縁の各聖各位、檀信徒の御芳情の賜ものと衷心より重ねて感謝申し上げます。次第であります。築百八十年の江戸期様式の秀麗な本堂が、次の二百年、永続して存続させるため大仕事を円成することの大功德を、二代慶讃として「宗祖日蓮大菩薩御降誕八百年慶讃」と、「圓頓寺開基四百年慶讃」に充てることが叶ったことは、当山の歴史に永く残るべく大浄行であります。住職そして檀信徒の皆様方と共に、この大功德をもつて、改めて宗祖日蓮大菩薩、当山諸天、当山歴代上人、開創以来檀信徒全霊位、有縁無縁法界万霊への報恩感

謝に充てさせていただく所存であります。再拝

落慶法要概報

梅雨に入り、週間天気予報で落慶法要の六月十日は降水確率七〇%でしたが、ありがたいことに受付から法要途中までは雨が降らず、「宗祖御降誕八〇〇年慶讃・



受付担当の方々



株式会社 松下仏壇店

大牟田本店

大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675

熊本店

熊本市中央区上水前寺1-12
-12 (東バイパス熊工前)
☎096-384-5666

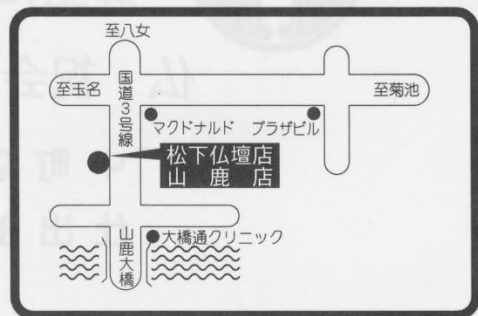
玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします





司会・堀尾大悟上人

圓頓寺開基四〇〇年慶讃・本堂改修落慶報告式」が厳修されました。

■式衆入堂・開式の辞■

午前十一時、半鐘が叩かれ、妙蓮寺・堀尾大悟上人の司会進行で、お題目唱和の中、導師の住職英人上人、院首英知上人、大安寺・秋吉英守上人、龍王寺・福山淨瑛上人、元寇園教会・高野英典上人の式衆が入堂し、『宗祖御降誕八〇〇年慶讃・圓頓寺開基四〇〇年慶讃・本堂改修落慶報告式を開式



式衆による開眼供養

■勸請文奉呈■

道場偈に続いて、『謹み敬つ

致します。』の開式の辞で落慶法要が始まりました。

■本堂・開眼供養■

まず、英人上人、英知上人、秋吉上人、福山上人の修法祈禱により、改修されました本堂へ開眼供養の法要が執り行われました。



小路永先生・お箏の奉納

て勸請し奉る。本日茲に日蓮大聖人の御降誕八〇〇年、当山常明山圓頓寺開創四〇〇年の慶讃を寿ぎ、本堂大改修落慶報告法要式に遭い合う処、南無輪圓具足……』と奉呈しました。

■お箏献奏・奉納■

小路永こぞえ先生、小路永和奈先生により日蓮宗の宗歌『立ち渡る』。江戸時代のお祝い曲で、本堂大改修の落慶法要のお祝いとし

この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

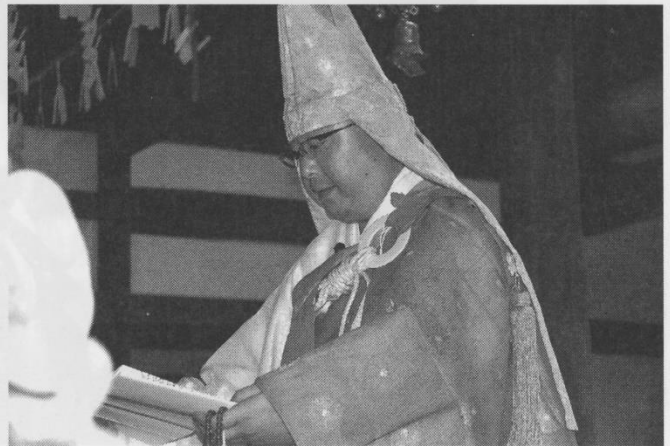
〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

て『八千代獅子』が鬼子母神尊像前で献奏され、お箏の御奉納がありました。

慶讃文奉読

住職が御宝前に進み、『山門今日、吉祥を卜し、来る宗祖日蓮大菩薩御降誕八百年の大いなる聖辰を寿ぎ、虔んで本堂大改修落慶報告法要式を修し、以て慶讃の大恩を報じ奉る。(略)併せて茲に常明山圓頓寺創建四百年の慶讃を迎え微衷の志を表す。加えて惟るに当山は、この地において、寛永元年の歳、本光院日授上人により、開基創建さる。(略)本日茲に二大慶讃、宗祖日蓮大菩薩御降誕八百年慶讃、圓頓寺開基四百年慶讃の妙行法筵をもって本堂大改修落慶報告法要式を挙行し、この大功德を以て宗祖日蓮大菩薩、当山諸天、当山先



師、開創以来檀信徒全霊位、有縁無縁法界万霊への報恩感謝に充てるものなり。南無妙法蓮華經 于時平成三十年六月十日 常明山圓頓寺 第三十四世 順境院日攝 敬白』と奉読されて導師席へ戻られました。

祈願回向

式衆による寿量品第十六、全参詣者による唱題行が行

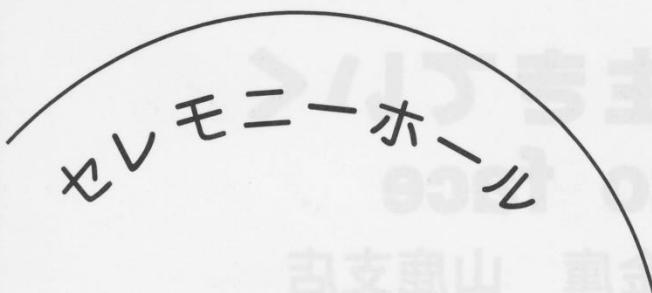
われ、宝塔偈に続いて住職が『謹み敬つて読誦し奉る。一乗妙法蓮華經唱え奉る。(略)茲に当山本堂並びに山門鐘樓堂の大改修の造営、新たに、(略)』と祈願回向をされ、奉送が式衆により唱和されました。

記念品贈呈

改修工事にご尽力いただきました池田一郎建築設計事務所、株式会社玄匠、松尾建築工業、松下仏壇店、中原電機商会、とらや商会の各代表者へ、住職から記念品が授与されました。

星野僧正から祝辞

静岡県大行寺住職、静岡県西伊豆町長、星野淨晋僧正から、『本日、圓頓寺様におかれましては、宗祖御降誕八〇〇年、圓頓寺開創四〇年の慶讃、本堂大改修落慶報告式が厳修され、住職



宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948

山鹿 天龍会館

TEL (0968) 44-0444

星野淨晋僧正の祝辞



英人上人、院首英知上人、母上、寺族、檀信徒の皆様におかれましては、感慨ひとしおのことと思えます。誠にめでたく、心から敬意を表す次第でございます。誠に御礼でございます。先におめでとうございます。先輩各僧おられます中で、若輩者の私が祝辞を述べますことを、慶事にてお許しいただければと思えます。』と祝辞を始められ、(圓頓寺

の歴史、二年前の熊本地震などからの改修の経過、本堂が新築でなくありのままの改修に至った意義、天保六年火災焼失後の住職、当時の檀信徒の本堂建立に対する思いも、見事に蘇らせたものであることに敬意を表され、業者の技術、誠実な施工に感謝され、檀信徒の皆様が若いご住職をもちたてた協力を御礼を申され。)



祝辞を拝聴する住職ら

『圓頓寺様の益々の御隆盛、世界の平和、地域の安穩、檀信徒皆様方の家庭円満を御祈念申し上げます。』と祝辞を述べられました。

謝辞

住職が、『御来賓寺院、御来賓各位の参列に御礼。施工業者、ご参詣いただいた檀信徒のお力によって、落慶法要を迎えることが出来たことは、感無量です。当山の開創四〇〇年、宗祖御降誕八〇〇年二つの慶事、慶讃をもって、本堂大改修を円成出来たことは、住職として感謝です。二〇〇年近いお題目の魂がこもった柱、梁を残して改修し、次の二〇〇年に永続する基礎が出来ました。(この後、圓頓寺を守っていく覚悟、頑張っていく所存を披歴され)、日蓮大聖人お言葉に、「法華経



お題目からはじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します

住宅金融公庫その他手続代行

有限会社 井上組

井上 勝介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊範

の行者は、強い願いというものは必ず叶う。同じ心を持った者と力を合わせれば困難なことであっても必ず円成することができるといふ尊きお言葉を、住職として全檀信徒の皆様方と経験、体験でき、身についた貴重なご縁でした。これからはもしっかり精進してまいります。ご参列ありがとうございます。ごさいました。』と謝辞を述べられました。

院首が、『一八〇年ぶりに本堂が立派にできて良かったですね。日蓮大聖人のお言葉に、「一人の力では何もできない。」とあります。自分の命はお父さん、お母さんのおかげです。お祖父さん、お祖母さんのおかげです。三十三世の先代住職として出来なかったことを、圓頓寺のお祖師様が三十四



院首英知上人の謝辞

代目に本堂改修を命じられたと思います。皆様の力を結集することが出来て、本堂が改修出来たという喜びを皆それぞれ持ち合わせて、後を継いでくれる子、孫、曾孫に伝えてください。今日からお題目を一心に唱えてください。本日はありがとうございました。感謝申し上げます。』と謝辞を述べられました。

栗原筆頭総代が、『御来賓、檀信徒の皆様への感謝

された後、懸案でありました本堂、山門、鐘楼堂の改修が昨年の護持会総会で満場一致承認いただき、四月十二日起工式、工事安全祈願祭を行い、仮本堂を設置し、解体工事、基礎工事が順調に進み、十一月上棟式を行い、無事故無改修工事が完成・完了し、本日の落慶報告式を厳修することが出来ました。檀信徒の皆様方におかれましては、御寄進を賜り大変お世話になっております。何とぞご理解とご協力をお願い申し上げます。工事業者の皆様におかれましては、大改修で御苦労をおかけいたしました。護持会一同、菩提寺興隆の努力を重ねて参ります。』と謝辞を述べられました。

閉式の辞

『以上をもちまして宗祖御

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手会館

横手仕出し

山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

降誕八〇〇年慶讃・圓頓寺開基四〇〇年慶讃・本堂改修落慶報告式を閉式致します。』の閉式の辞で落慶法要が終わり、式衆がお題目の中退堂され、その後蒲島郁夫熊本県知事も加わっていただいで、集合写真撮影がありました。

檀信徒の方々は、受付で配られました記念引換券、弁当引換券でそれぞれ引き換えられ、一部の方は持つて帰りましたが、多くの方は祝宴に参加いただきました。

豪華な祝宴でした

檀信徒会館で行われた祝宴には、ありがたいことに蒲島郁夫熊本県知事もご参加いただきました。祝宴は、田中総代の司会で始まり、住職が、『法要への参列、祝宴への参加に御礼の後、お

寺の姿も立派に改まりました。檀信徒の皆様のご厚情の賜ものです。改めて御礼申し上げます。工事に携わっていただきました方々ありがとうございました。時間がとうございました。時間の許す限りご歓談をお願い申し上げます。』と挨拶。

蒲島熊本県知事挨拶



田中総代が、「蒲島知事にご挨拶をいただきたいと思えます。」と要請。知事は、『今日は圓頓寺の落慶式おめでとうございます。大変な地震でした。有史以来震度七の地震が二度来ました。熊本県は必死に対応してい

ます。私も両親と親類のお墓が圓頓寺にありますので地震の後にお墓参りに来ました。(注・十七ページを参照ください)。その時住職、役員の方から、今日のことがありますので是非来てくださいますので是非来てくださいます。おめでとうございませすといふことを言いたかった。これだけの大事業、約二〇〇年以來の落慶式を見せていただきましたが、素晴らしい仕上がっています。今回の地震の特徴は瓦が傷んだことです。瓦を沢山使っておられるので、大変だと思いつながら私も見ておりましたが、立派に皆様の御努力によって短期間にやっただけです。心から感謝します。地震から二年が経過しました。私は熊本県全体の復旧・復興を三つ

毎度ありがとうございます

米・肥料・農薬・たばこ
(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀

代表取締役 阿蘇品 和彦

☎ (0968) 43-2526

無料電話 0120-23-2526

山鹿市大宮町641-2

熊本日日新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 洋介

の原則でやってきました。一つは被災された方々の痛みをなるべく小さくしよう。二番目は創造的な復興をしよう。前よりいい形で復興しよう。三番目は復興を更なる熊本県の発展につなげよう。今日圓頓寺に來させていただきましたが、まさにこれが創造的復興ではないか。前よりいい形で出来上がっています。これから二〇〇年続いていくと思



蒲島知事の話に耳を傾ける祝宴参加者

ます。二〇〇年の礎が皆様のおかげで出来ました。地震で色んなものを失いました。だが、二つ得たのではないかと思います。一つは絆と人々のつながりが出来た。二つめは、一人一人が全国から支援の手が差し伸べられましたので感謝の気持ちです。絆と感謝の気持ちをもち、皆様と一緒に熊本県の創造的復興に向けて、頑張りたいと思います。これからもご支援をいただければと思います。何よりも皆様の手でこのように立派な圓頓寺に仕上がった。これから二〇〇年の基礎になると思います。これを成し遂げられた皆様、ご住職様、多くのサポートをされた方々に心からおめでとうと共に、御礼申し上げます。本日は誠にめでとうございます。』

とご挨拶を頂戴いたしました。祝宴・カンパ〜イ 田中総代が、『大変お忙しい中に、圓頓寺の落慶法要にご参加いただきありがとうございます。県政のことに引き続き、震災後の復旧・復興に向けて御尽力されています。お身体に十分お気を付けられていただきたいと思ひます。』と御礼の後、『乾杯の御発声を栗原



蒲島知事の話に耳を傾ける祝宴参加者

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉



清流荘

鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768

電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)

ファックス (0968) 43-5153

筆頭総代にお願いします。』



栗原筆頭総代のカンパイで祝宴開始

栗原筆頭総代が、『皆様方のおかげをもちまして、本堂の大改修、山門・鐘楼堂の立派な改修が出来ました。ほんとうにありがとうございます。蒲島知事さんから、今後二〇〇年本堂が立派に皆様方のお役に立つだろうと、今日の日を祝っていただきました。感謝申し上げます。今後皆様方の御健勝と御発

展を念じまして乾杯します。おめでとうございます。ありがとうございます。カンパイ。』で、一同コップを上げ唱和して祝宴が始まり、蒲島知事も時間の許す限り

檀信徒の皆様方へ感謝

護持会会長 栗原辰也



落慶法要で謝辞を述べる

初夏を迎え日増しに暑さが厳しくなつてまいりました。檀信徒の皆様方におかれましては、ご健勝にてお暮しのことと推察致します。永年の懸案でありました

参加していただき、参加者と懇談をいただきました
【落慶法要の写真・松下仏壇店、編集委員会】

(編集委員・谷)

菩提寺圓頓寺本堂大改修、併せて山門、鐘楼堂改修も一昨年度護持会総会で承認を賜り、以来八回の改修建設委員会を催し、昨年度の臨時護持会総会で満場一致の承認を再度賜り、四月十二日起工式、工事安全祈願祭を行い、仮本堂を檀信徒会館に設置、本堂解体工事、基礎工事と順調に進み、十一月一日上棟式を行い、無事事故も無く大改修工事、山門、鐘楼堂共に改修工事が完成完了し、六月十日落

平成十七年度～平成三十四年度

立正安国

お題目結縁運動

日蓮宗



マルカメ醤油・味噌
灯笼しょうじょう

山鹿市中1000-2
☎ 44-3131